

事業者名	株式会社アイシン																														
本社所在地	愛知県刈谷市朝日町二丁目1番地																														
業種	製造業																														
事業概要	自動車部品、エネルギーソリューション関連機器の製造販売																														
事業活動エリア	日本国内は全域																														
企業URL	https://www.aisin.com/jp/																														
地方公共団体との マッチングを望む 分野	高 ← 優先度 → 低 1 水素 4 公共施設での太陽光発電 2 その他 5 計画策定・改定 3 交通分野の脱炭素（EV等） その他 : <u>オンサイト型水素ステーションの整備</u>																														
地域づくりに貢献する 「地域脱炭素」を通じて 実現したい社会像	地域の再生可能エネルギーや再エネ由来水素を活用したエネルギーの地産地消と資源循環により、脱炭素と地域経済の活性化、防災・レジリエンス向上を両立する持続可能な社会																														
地方公共団体の脱炭素の 目標や課題に対して 提供可能な ソリューション	水電解装置を核に、地域再エネを活用したオンサイト型水素ステーションとFC商用車の導入を組み合わせ、水素の製造・供給・利用を地域内で循環させる地域水素サプライチェーンを構築し、脱炭素と地域活性化を実現するソリューションの提案 ■ 地域再エネ活用 ・ 太陽光・風力等の電力を活用したグリーン水素製造 ・ 再エネの出力変動対策、有効活用に加えてEMSによるJEPXからの安価な電力による水素製造 ■ 水素供給インフラ整備 ・ オンサイト型大規模商用車向け水素ステーションの企画 ・ FC商用車（物流車両・バス・公用車）の導入による地域モビリティの脱炭素提案 ・ 地域内での水素製造・供給の実現と水素需要調査、創出 ・ 災害時のエネルギー確保																														
地方公共団体との 連携実績	<table><tr><th>名称</th><th>実施期間</th><th>対象自治体</th><th>国・NEDO等の支援</th><th>実績概要</th></tr><tr><td>脱炭素先行地域事業（QRUWATRIにおける地域エネルギーマネジメント）</td><td>2023年度～</td><td>岡崎市</td><td>環境省「脱炭素先行地域」事業</td><td>岡崎さくら電力と連携し、太陽光発電等の再エネを地域内で最大活用。エネファーム群のVPP制御により地域エネルギーの地産地消を推進。</td></tr><tr><td>豊田バーチャルパワープラント（VPP）実証</td><td>アイシン参画は2019年～</td><td>豊田市</td><td>国のVPP関連実証（経済省系実証事業）を活用した実証</td><td>豊田市、トヨタ、デンソー、東邦ガス等と連携し、エネファーム・PHV・蓄電池等を統合制御。再エネ地産地消率向上を検証。</td></tr><tr><td>IoTを活用したJ-クレジット創出事業</td><td>2021年6月～</td><td>豊田市、刈谷市等</td><td>J-クレジット制度（経済産業省・環境省・農林水産省）活用</td><td>エネファームのCO2削減効果をIoTで収集し、J-クレジットとして創出・活用する仕組みを自治体と構築。</td></tr><tr><td>グリーン水素を活用した純水素燃料電池車に向けた実証事業</td><td>2025年12月～2026年2月</td><td>京都府</td><td>京都市事業。ペロブスカイト太陽電池はNEDO事業成果を活用。純水素SOFCは環境省事業成果を活用。</td><td>ペロブスカイト太陽電池→水電解→水素貯蔵→純水素SOFC発電を一体実証し、防災拠点での活用を検証。</td></tr><tr><td>地域水素利活用を推進する純水素SOFCシステムの技術開発・実証</td><td>2023年度～</td><td>自治体横断型</td><td>環境省「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」採択</td><td>東北大学、森村SOFCテクノロジーと共同で純水素SOFCを開発。地域で製造したグリーン水素の利用拡大を目指す。</td></tr></table>	名称	実施期間	対象自治体	国・NEDO等の支援	実績概要	脱炭素先行地域事業（QRUWATRIにおける地域エネルギーマネジメント）	2023年度～	岡崎市	環境省「脱炭素先行地域」事業	岡崎さくら電力と連携し、太陽光発電等の再エネを地域内で最大活用。エネファーム群のVPP制御により地域エネルギーの地産地消を推進。	豊田バーチャルパワープラント（VPP）実証	アイシン参画は2019年～	豊田市	国のVPP関連実証（経済省系実証事業）を活用した実証	豊田市、トヨタ、デンソー、東邦ガス等と連携し、エネファーム・PHV・蓄電池等を統合制御。再エネ地産地消率向上を検証。	IoTを活用したJ-クレジット創出事業	2021年6月～	豊田市、刈谷市等	J-クレジット制度（経済産業省・環境省・農林水産省）活用	エネファームのCO2削減効果をIoTで収集し、J-クレジットとして創出・活用する仕組みを自治体と構築。	グリーン水素を活用した純水素燃料電池車に向けた実証事業	2025年12月～2026年2月	京都府	京都市事業。ペロブスカイト太陽電池はNEDO事業成果を活用。純水素SOFCは環境省事業成果を活用。	ペロブスカイト太陽電池→水電解→水素貯蔵→純水素SOFC発電を一体実証し、防災拠点での活用を検証。	地域水素利活用を推進する純水素SOFCシステムの技術開発・実証	2023年度～	自治体横断型	環境省「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」採択	東北大学、森村SOFCテクノロジーと共同で純水素SOFCを開発。地域で製造したグリーン水素の利用拡大を目指す。
名称	実施期間	対象自治体	国・NEDO等の支援	実績概要																											
脱炭素先行地域事業（QRUWATRIにおける地域エネルギーマネジメント）	2023年度～	岡崎市	環境省「脱炭素先行地域」事業	岡崎さくら電力と連携し、太陽光発電等の再エネを地域内で最大活用。エネファーム群のVPP制御により地域エネルギーの地産地消を推進。																											
豊田バーチャルパワープラント（VPP）実証	アイシン参画は2019年～	豊田市	国のVPP関連実証（経済省系実証事業）を活用した実証	豊田市、トヨタ、デンソー、東邦ガス等と連携し、エネファーム・PHV・蓄電池等を統合制御。再エネ地産地消率向上を検証。																											
IoTを活用したJ-クレジット創出事業	2021年6月～	豊田市、刈谷市等	J-クレジット制度（経済産業省・環境省・農林水産省）活用	エネファームのCO2削減効果をIoTで収集し、J-クレジットとして創出・活用する仕組みを自治体と構築。																											
グリーン水素を活用した純水素燃料電池車に向けた実証事業	2025年12月～2026年2月	京都府	京都市事業。ペロブスカイト太陽電池はNEDO事業成果を活用。純水素SOFCは環境省事業成果を活用。	ペロブスカイト太陽電池→水電解→水素貯蔵→純水素SOFC発電を一体実証し、防災拠点での活用を検証。																											
地域水素利活用を推進する純水素SOFCシステムの技術開発・実証	2023年度～	自治体横断型	環境省「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」採択	東北大学、森村SOFCテクノロジーと共同で純水素SOFCを開発。地域で製造したグリーン水素の利用拡大を目指す。																											